

広報 涅槃の家

第41号

令和元年7月15日

発行：高知市春野町弘岡下2454-28

多機能型障害福祉サービス事業所・涅槃の家

TEL 088-894-5100

理事長：氏原 嗣志 管理者：大石 和成



理事長就任のご挨拶



告いたします。

本会へのこれまでの皆様方のご厚誼に感謝するとともに、前理事長が培ってまいりました障がい者の皆様への心を大切に、障がい福祉の充実のため努力をまいります。

また、土居瑞氏の高新大賞の受賞を記念いたしまして本年三月に敷地内南側に総額四千八百万円をかけ第二作業棟を設けましたことも併せてご報告いたします。このことにより、施設利用者へのより一層のサービス向上と社会参加への促進につながるものと確信をいたしております。私自身も理事長として、より一層の努力いたしまして障がい者の皆様方が「あかるく、やさしく、たくましく」と、楽しい人生を生き抜けるよう取り組んでまいりますので、今後ともより一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

先ずは、略儀ながら書中をもちましてご挨拶申し上げます。

謹白

社会福祉法人ねはんの会

理事長 氏原 嗣志

退任のご挨拶

謹啓 初夏の候、皆様方におかれましては、ますますご清栄にてお喜び申し上げます。

私、土居 瑞は、このたび定時役員会をもちまして社会福祉法人ねはんの会理事長を退任することになりました。在任中は太過なくその任を果たせましたのも、皆様方のひとかたならぬご厚誼の賜物と存じ改めて深く感謝を申し上げます。

本来なら参上のうえご挨拶申し上げますところですが、先ずは略儀ながらご報告かたがたご挨拶申し上げますとともに、皆様のご健勝ご発展をお祈り申し上げます。

社会福祉法人ねはんの会

謹白

前理事長 土居 瑞

退任の挨拶

平成十七年四月より涅槃の家でお世話になって十四年間、短いようで長い期間でした。十四年の間に私も還暦を過ぎ、実母や義理の父の高齢化により介護が必要になったこと、山口や高知の家や田畑の管理などが必要となったことにより、常勤での勤務が難しくなりました。これらの理由により、残念ですが止む無く退職することとなりました。

この間、土居前理事長のもとで障害者福祉について、多くの事を学ばせていただきました。涅槃の家の家訓でもあります「あかるく」「やさしく」「たくましく」の理念のもと、ご利用者様の皆さんや保護者・職員の皆さんと過ごさせていただいたことは、私にとって大きな財産となりました。

福祉を取り巻く環境も大きく変化しました。措置制度から契約制度、自立支援法の制定、そして規制緩和による競争原理の導入など、事業所の経営や障害福祉にとっては、大変厳しい環境となっています。しかし、誰もが普通に生活できる共生社会の実現を目指すことが、私たちの使命であることを忘れてはいけません。

この度、土居瑞前理事長もご勇退され、新しく氏原嗣志理事長が就任されました。また七月より新管理者として大石和成氏が就任されます。両氏のリーダーシップのもと職員が皆さんが協力し合って、ご利用者様の皆さんを中心に、ますます発展することを願ってやみません。

私も微力ながら今後とも協力をさせていただきたく所存です。長い間お世話になりました。感謝!!

前管理者 長見 勝次郎

就任の挨拶



七月一日付
けで管理者に
就任いたしました
大石和成
です。

本年六月に入職し、経験が少ないままでの管理者就任ですが、涅槃の家の家訓である「明るく」「やさしく」「たくましく」を基本に、令和という新しい時代の障がい者サービスとしてご利用者様に喜んでいただけるよう、サービス向上に取り組んでまいりたいと思います。

本年六月に当社会福祉法人は、土居理事長が退任され、新理事長に氏原業務執行理事が就任されました。令和という新しい時代のねはんの会を氏原新理事長の力強いリーダーシップで切り開いていくことになりました。皆様もその手腕に期待しているものと思います。私もこれまでの経験を活かして、氏原新理事長とともにねはんの会の発展に取り組んでまいります。

まだまだ勉強不足ですが、皆様の期待に応えられるよう努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

社会福祉法人 ねはんの会

管理者 大石 和成

新園舎完成落成



この度、念願の新園舎が完成しました。昨年7月より本格的な工事が始まり、今年の2月に受け渡しがあり、3月16日新築落成式を執り行う運びとなりました。

それは本館南に位置しており、作業室からその出来ていく、立ち上がっていく様を利用者様全員が作業室のガラス越しに期待に胸を膨らませて待ち望んだことでした。

この新館は、主に生活介護の利用者様の活動場所として活用されていきます。

この新館を利用することにより、これまでの生活介護の活動に加え、一回りも二回りも豊かで快然たる日中活動にできますよう努力していく次第であります。

この新築落成にあたり、沢山の心温まるお祝い、またご参列いただきまして、ありがとうございました。

スポーツ大会



目標に向かって進む！

この日は出場する皆が同じゴールを目指し、栄光をつかむ人や、悔しさにまた新たな目標を見つける人と、それぞれのドラマが生まれました。

応援する他の利用者さんや職員にも、選手達の熱が伝わって、トラックを走る姿に自然と声が上がリ、表彰台に上がった時には、それがまるで自分のことのように、喜びの表情を浮かべていました。



デコの里販売



就労班で月に一度、第三木曜日に販売に伺い、畑で育てた野菜をはじめ、らっきょう甘酢漬けやからし味噌、ビーズアクセサリーなど自主製品を主に販売させていただいています。

販売をすることで自分たちが手掛けたものが売れていく喜びと何より利用されている方の暖かさにふれ、皆この日を楽しみにしています。

心温まるご厚意
ありがとうございます

- 一、テレビ二台・金一封 土居 瑞 様
- 二、エアコン・音響セット・時計 保護者会 様
- 三、時計 ハヤシ商事 様
- 四、金一封 後援会 様
- 五、食料品 竹内 様
- 六、花 前田 様
- 七、みかん 鈴木内科 様
- 八、食料品 でべそ 様

新人紹介

- 友愛の家 生活支援員 山崎 より子
- 世話人 青木 二三子
- 世話人 林 美紀
- 生活支援員 北川 絢水
- 兼 世話人

ご厚意 (寄贈物品等一月〜六月)

平成30年度 決算報告

貸借対照表

平成31年3月31日現在

資金収支計算書

(自)平成30年4月1日 (至)平成31年3月31日

事業活動計算書

(自)平成30年4月1日 (至)平成31年3月31日

(単位:円)

(単位:円)

(単位:円)

借方		貸方	
資産の部		負債の部	
流動資産	28,077,808	流動負債	7,058,797
現金預金	12,718,721	事業未払金	4,667,832
事業未収金	15,359,087	職員預り金	90,965
		賞与引当金	2,300,000
		固定負債	2,603,783
固定資産	272,237,225	退職給付	2,373,783
基本財産	198,446,778	引当金	
その他の固定資産	73,790,447	敷金預り金	230,000
		負債の部	9,662,580
		合計	
		純資産の部	
		基本金	74,827,399
		国庫補助金等	
		特別積立金	66,325,704
		その他の積立金	50,300,800
		次期繰越	99,198,550
		活動増減差額	
		純資産の部	290,652,453
		合計	
資産の部	300,315,033	負債及び純資産の部	300,315,033
合計			

勘定科目	決算額
「事業活動による収支」	
就労支援事業収入	6,671,178
障害福祉サービス等事業収入	91,730,655
経常経費寄附金収入	190,000
受取利息配当金収入	12,364
その他の収入	1,487,200
事業活動収入計(1)	100,091,397
人件費支出	63,119,115
事業費支出	14,458,934
事務費支出	12,173,876
就労支援事業支出	6,395,879
その他の支出	1,212,039
事業活動支出計(2)	97,359,843
事業活動資金収支差額	2,731,554
(3)=(1)-(2)	
「施設整備等による収支」	
施設整備等補助金収入	1,262,000
施設整備等寄附金収入	21,410,000
施設整備等収入計(4)	22,672,000
固定資産取得支出	52,717,520
固定資産除却・廃棄支出	1,047,600
施設整備等支出計(5)	53,765,120
施設整備等資金収支差額	-31,093,120
(6)=(4)-(5)	
「その他の活動による収支」	
その他の活動収入計(7)	0
積立資産支出	23,976,452
その他の活動による支出	25,000
その他の活動支出計(8)	24,001,452
その他の活動資金収支差額	-24,001,452
(9)=(7)-(8)	
予備費支出(10)	0
当期資金収支差額合計	-52,363,018
(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	
前期末支払資金残高(12)	75,682,029
当期末支払資金残高(11)+(12)	23,319,011

勘定科目	決算額
「サービス活動増減の部」	
就労支援事業収益	6,671,178
障害福祉サービス等事業収益	91,730,655
経常経費寄附金収益	190,000
サービス活動収益計(1)	98,591,833
人件費	63,875,567
事業費	14,452,549
事務費	12,173,876
就労支援事業費用	6,671,178
減価償却費	8,192,683
国庫補助金等特別積立金取崩額	-4,119,991
サービス活動費用計(2)	101,245,862
サービス活動増減差額	-2,654,029
(3)=(1)-(2)	
「サービス活動外増減の部」	
受取利息配当金収益	12,364
その他のサービス活動外収益	1,487,200
サービス活動外収益計(4)	1,499,564
その他のサービス活動外費用	1,218,424
サービス活動外費用計(5)	1,218,424
サービス活動外増減差額	281,140
(6)=(4)-(5)	
経常増減差額	-2,372,889
(7)=(3)+(6)	
「特別増減の部」	
施設整備等補助金収益	1,262,000
施設整備等寄附金収益	21,410,000
特別収益計(8)	22,672,000
基本金組入額	21,160,000
固定資産売却損・処分損	2,447,051
国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	-1,108,476
国庫補助金等特別積立金積立額	1,262,000
特別費用計(9)	23,760,575
特別増減差額(10)=(8)-(9)	-1,088,575
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	-3,461,464
「繰越活動増減差額の部」	
前期繰越活動増減差額(12)	126,160,014
当期末繰越活動増減差額	122,698,550
(13)=(11)+(12)	
基本金取崩額(14)	0
その他の積立金取崩額(15)	0
その他の積立金積立額(16)	23,500,000
次期繰越活動増減差額	99,198,550
(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	



編集後記

あじさいの咲き誇る季節、この記事を書きながら思うこと。穏やかな風が吹く中で、涅槃の時間は止まった様でありながら、確実に進んでいる。しかしその先にあるのは必ずしも「希望」と言えるものなのだろうか。利用者様達の顔を見ると、それを信じたいと思いつながら、また別のところでは不安も感じます。

けれど、それぞれの道は、きっと前に向かって進んで行く。新しい涅槃の園舎を眺めながら、それを信じることを忘れてはいけないと、そう感じたことでした。

高橋

